

きてみてなへす みてなへす



市立福知山市民病院

所在地

620-8505

京都府福知山市厚中町231番地

TEL:0773-22-2101

FAX:0773-22-6181

ホームページ: <http://www.fukuchiyama-hosp.jp/>

～一度私たちの病院に来てみませんか？～

★福知山マラソン★



平成29年11月23日第27回福知山マラソンが開催されました。当院は例年ドクターカーとして参加しています。今年も医師1名、看護師1名が救急車に同乗し、20km地点で有事に備え

待機しました。当日、救護スタッフとして参加した当院の看護師、木脇和剛さんの感想です。

～レース開始後、ランナーの救護にあっている際に、30km地点で男性ランナーが心肺停止の状態で倒れているとの出勤要請が入りました。ドクターカーで現場に駆けつけた際には、救急救命士のバイク隊やボランティアの方々より、AEDなどによる救命処置を受け、心拍が再開している状態でした。その後、救急車内に収容し、酸素投与や点滴静脈路確保、心臓超音波検査をしながら当院へ搬送しました。また搬送中、病院と詳細な情報を共有することで、病院到着後すぐに、循環器ドクターの診察と、心臓カテーテル検査を受けることができ、患者様は5日後に退院されました。

今回ドクターカーナースとして、マラソン大会という特殊な現場で私が心掛けたことは、迅速な医師の診療の補助はもちろん、大勢のランナーや沿道の応援の方々がいる中でのプライバシーの保護や現場で活動していただいた方からの情報収集、救急車内で意識が戻った患者様の精神的ケアなど、病院前でも看護師としてできるケアを心がけて活動しました。また、今回の症例ではバイク隊やメディカルランナー、ボランティアの方々、ドクターカーの救急救命士・医師・看護師、病院スタッフが迅速に連携し1人の患者様を救うことができたと思います。この経験を今後の救急外来での看護ケアや救急蘇生講習会で活かしていきたいです。～

ドクターカーで救護に参加した
看護師 **木脇 和剛**さん



新人さんの声

一年間の感想

- ・日々の業務が忙しく、学生の時は知らなかった事も沢山あり、大変だと思事もありましたが、同期・先輩に相談しながら仕事ができ充実した毎日でした。
- ・初めは不安ばかりでしたが、仕事にも環境にも慣れてきてホッとしています。
- ・根拠が分からず、苦しい時もあったが、1人の看護師として仕事ができている事にとても充実感があつた。
- ・とても早い一年間でした。初めての事ばかりで毎日覚える事も沢山あり、大変な一年でした。でも、その分最初の頃より出来る事も増え、楽しさや、やりがいも感じた一年でした。
- ・病院全体が忙しくて毎日がすぐに過ぎて、分からない事をすぐに聞けない事もありました。患者様が頑張っておられたりすると、自分も頑張ろうと思えます。

第35号 発行日:平成30年1月24日

★大忘年会★

昨年末に毎年恒例の大忘年会をホテルロイヤルヒル福知山で開催しました。病院内の色々な職種の職員が集まりとても楽しい会となりました。院長先生を中心に職員の歌やダンスで盛り上がりしました。豪華景品付きのビンゴゲームもあつたりと、大忘年会は一年の締めくくり行事として職員が楽しみにしている行事の一つです。



ビンゴ大会



★全員集合★

苦手だったが出来るようになったこと

- ・採血や点滴などが出来るようになった。。まだまだ下手ですが、過度な緊張はしなくなりました。
- ・お産をとれるようになってとても嬉しい。苦手な事、怖い事もありますが、赤ちゃんをとりあげる事ができたという事に、充実感や幸せを感じます。
- ・患者様とコミュニケーションを取る事が比較的出来るようになった。
- ・タイムスケジュールを組みたてられるようになった。

この病院に来てよかったと思うこと

- ・産科だけでなく色々な患者様をみられること。
- ・仕事の中で、他職種の連携を見ることが出来る。
- ・何でも相談出来、一緒に頑張れる同期に出会えたこと。また、技術を確実に出来るように認定試験などがあること。
- ・先輩方が、1つ1つしっかりと教えて下さり、時には後ろから見守っていただきながら、技術をしていくことができるので、安心して業務ができること。
- ・技術を身につけるために、試験などがあること。
- ・同期がたくさんいること。
- ・教育体制が良く、配属された科以外の事も集合研修で学べる。